

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0315										
施設名	社会福祉法人成木保育園										
施設所在地	東京都青梅市成木4-683-5										
法人名	成木保育園										
活動期間	令和	7	年	5	月	から	令和	8	年	3	月
活動内容の公表	<input checked="" type="checkbox"/>	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。									
		公表したホームページ等のURL					http://www.nariki.ed.jp				

2. 活動報告（注1）

番号	1					
テーマ	自然とのかかわりを生かした探求活動 ～森と川を探る～					
実施回数・期間 (注2)	合計14回（内訳：5月1回、6月1回、7月6回、8月5回、3月1回）/令和7年5月から令和8年3月まで					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	0人	0人	0人	10人	15人	14人
活動内容 (注3)	本園は、山と川に囲まれた自然豊かな環境にある。その強みを生かした自然体験を通して、子どもたちの感性を磨き、興味・関心を引き出すための取組みをした。具体的には、森林での探求活動・伐採体験とその木を活用した卒園製作、川遊びやマス掴み体験を行った。					
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/>	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。				
		※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 活動が終わり、園に戻って来たときに、サークルタイム(円になってグループで話し合う時間)をとるようにした。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。				
		※記録をどのように行ったか 保育者が写真を撮ったり、地域の同行者が子どもたちの会話をメモするなどして、記録を残した。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。				
		※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 「森ってどんなところ？」との最初の問いかけから、一人ひとりが違うイメージをもっていることが分かるので、体験をとおして、どのように変容したかを尋ねるようにした。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。				
		※振り返りの実施方法 個人で振り返りをした後、サークルタイムをとおして、お互いの感想や考えを共有した。その後、みんなの話を聞いてどう感じたかを質問するようにした。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。				
		※教諭や保護者等への共有方法 園だよりや月末の保育園様子配信などをとおして内容の共有をしている。				
<input checked="" type="checkbox"/>	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。					
	※継続的な実施のための工夫 山に降った雨が川に流れて、川の水を使って農業が行われる。令和8年度は、稲作に取組むことで、自然との共生を継続的に探求していきたい。					

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。